

7. 関係機関・各団体の活動

7. 関係機関・各団体の活動

7. 福島県建設業協会郡山支部・こおりやま建設協会

震災発生直後から、道路応急復旧、ガレキ撤去を行いました。そうした応急対応と平行して、東京電力福島第一原子力発電所事故に伴う対策として、学校・保育所等、プール、住宅、公園、稲わら等の除染作業を行ってきました。特に、原発事故直後は、放射線に対する不安もありましたが、市から「未来を担う子どもたちのため、一緒に闘いましょう。」この一言で始まった学校関係表土除去には、これまで延べ15,000人以上が携わっています。

(1) 道路応急復旧

(平成23年3月11日～5月31日)

- ・実施数:1,473箇所
- ・使用材料:砕石:981m³、アスファルト合材:1,484t
- ・ガレキ処理:331t
- ・作業延べ人数:2,914人

(2) ガレキ撤去

(平成23年3月11日～5月17日)

- ・処理件数:1,020件
- ・処理トン数:1,963t
- ・作業延べ人数:914人



(3) 学校関係表土除去作業

(平成23年4月27日～10月21日現在)

- ・保育所・幼稚園:159校(延べ数)
- ・小学校・中学校:266校(延べ数)
- ・作業延べ人数:15,527人

(4) 公園関係表土除去作業

(平成23年8月25日
～平成24年3月31日現在)

- ・公園:454箇所
(完了面積:558,000m²)
- ・作業延べ人数:約15,000人



校庭表土除去

8. 郡山市消防団

地震直後から、地区隊・分団ごとに地区内の被害状況の確認(倒壊家屋の調査、道路状況の見回り等)、避難誘導、支援物資の搬入、給水活動、避難所運営補助等を行いました。また、道路の危険箇所へ入らないよう警告を行うとともに、火災予防の徹底を呼びかけました。

・出勤延べ人数:3,113人



被災建物調査

9. 町内会・自主防災組織等

震災直後から、町内会や自主防災組織などの地域活動団体は「自助」・「共助」の観点から、それぞれの地域で、被害情報の収集、1人暮らし高齢者等の家のかたづけ・応急的な補修の手伝い、耐震性貯水槽を活用した給水活動、炊き出しなどを行いました。

また、地域活動団体は、子どもたちのため、一日でも早く健全な環境を取り戻すため、放射線量の低減を目的とした除染活動を行っています。



耐震性貯水槽による給水活動

10. 市民活動団体(NPO)等

地震直後から、炊き出しや食材・生活用品の提供、救援物資の調達配送、障がい者相談所の開設及び生活支援、心のケア活動、避難所運営の協力等、それぞれの活動分野を活かした地域住民や避難住民の支援を行いました。